

日本精蠟株式会社

2024年12月期 決算説明資料

2025年2月14日

東証スタンダード 5010



日本精蠟株式会社

目次

■ 会社概要	P.02
■ 2024年12月期 業績概要	P.06
■ 2025年12月期 業績予想	P.13

会社概要

スペシャリティ・ワックスのグローバルリーダーとして いつも新たな価値をお客様にお届けします。

商号	日本精蠟株式会社
代表取締役社長	瀧本 丈平
設立	1951年2月10日（創業 1929年2月10日）
本社所在地	東京都中央区京橋2丁目5番18号 京橋創生館10階
資本金	1億円

従業員数	219名（単体） 268名（連結）（2024年12月末現在）
グループ会社	Nippon Seiro (Thailand) Co., Ltd. テクノワックス株式会社 周和産業株式会社 日精興産株式会社

事業内容

日本でただ1つ、ワックス＝蠟を専門に造っている会社です。今後も高い品質と技術によるスペシャリティーワックスのグローバルリーダーとして、お客様に新しい価値をお届けします。

製品用途

● タイヤ向けワックス（ゴム用途）

ゴム製品にワックスを練り込み、表面に薄膜をつくることで、空気中のオゾンからゴムの劣化・ひび割れを防止します。

● トナー向けワックス（インキ用途）

トナーにワックスを混ぜることで、トナーが紙に印刷される際に、にじみを防止します。

● 蠟燭

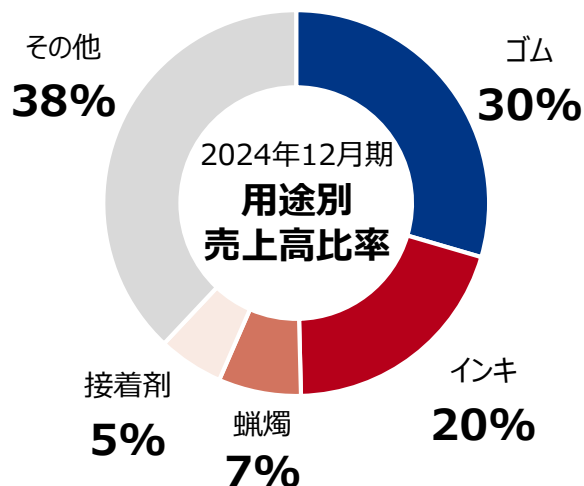
古くから神仏用として用いられ、近年は装飾用キャンドルとして、結婚式の演出やアロマキャンドルとして親しまれています。

● 接着剤用ワックス

接着性樹脂に混ぜて、流動性を持たせます。

● その他用途

食品、農林、化粧品など、幅広い用途に用いられています。



タイヤ



プリンタートナー



蠟燭



接着剤



耐水ダンボール



ガム



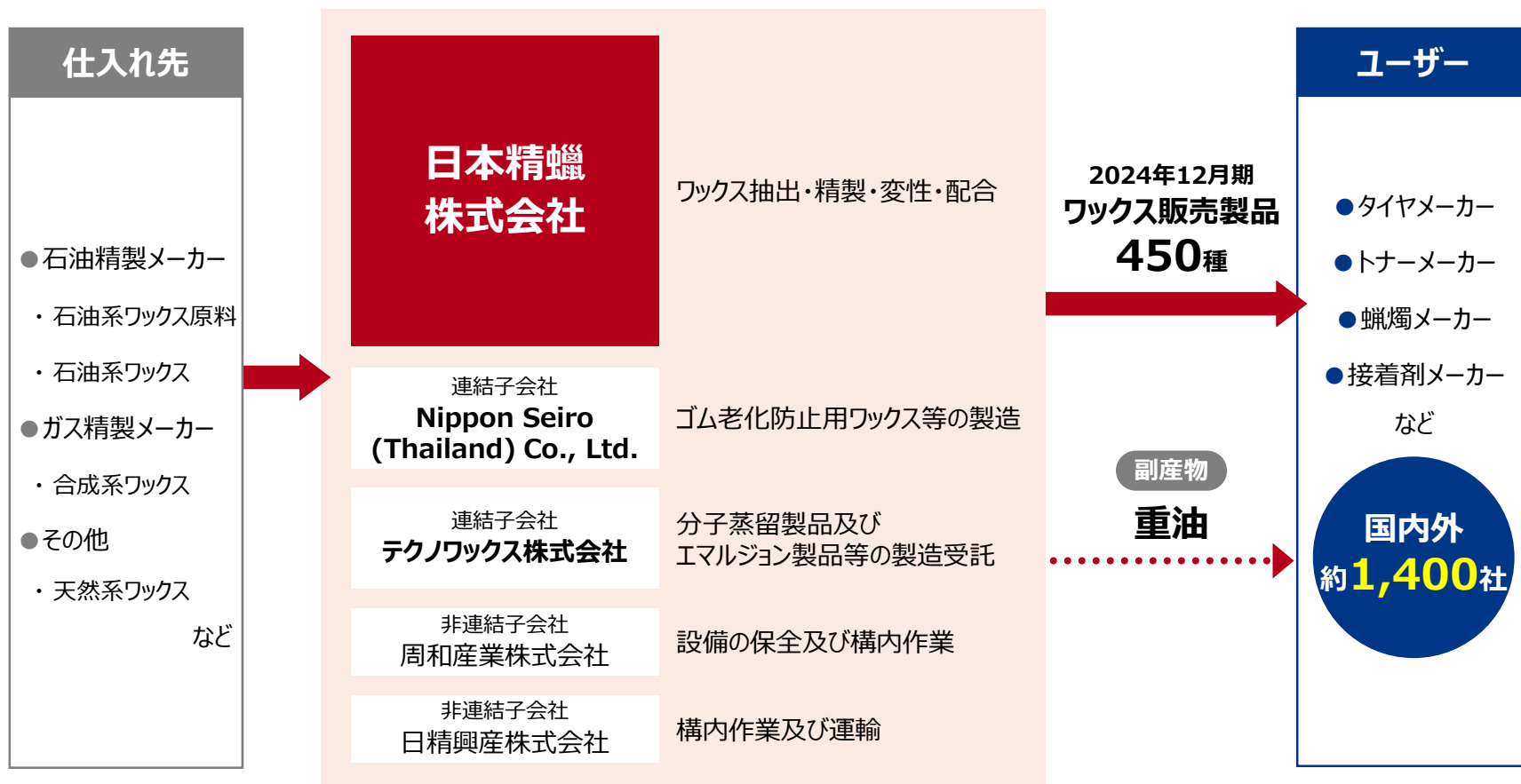
化粧品



果実袋

事業系統図

当社グループは主に石油精製メーカーからワックス原料を購入し、分離・精製・化学反応・配合をすることで、お客様(ユーザー)の求める性能・品質を持つワックス製品を製造し、様々な形状・形態で幅広い業界のお客様に当社製品をお使い頂いております。



2024年12月期 業績概要

2024年12月期通期業績サマリー

『中期経営計画（23-27）』で掲げた諸施策の実施により、前年同期比増益となりました。

(単位：百万円)	2022年 12月期	2023年 12月期	2024年12月期			
	通期実績	通期実績	通期実績	前年同期比	通期予想 [※]	達成率
売上高	38,457	21,704	22,045	+1.6%	21,500	+103%
国内ワックス	12,384	11,583	13,652	+17.9%		
輸出ワックス	11,664	6,445	6,541	+1.5%		
重油	14,228	3,498	1,703	▲51.3%		
その他	180	177	147	▲16.9%		
営業利益	▲2,043	▲552	2,245	-%	1,900	+118%
経常利益	▲2,263	▲785	1,682	-%	1,400	+120%
税引前当期純利益	▲2,256	▲1,344	1,658	-%		
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲2,368	▲1,221	1,776	-%	1,300	+137%
外部環境指標 Brent		\$83/bbl	\$81/bbl		\$85/bbl	
外部環境指標 Gas Oil		\$104/bbl	\$96/bbl		\$101/bbl	
外部環境指標 為替		141 JPY/USD	151 JPY/USD		153 JPY/USD	

※ 通期予想は、8月14日開示の数値です。

構造改革の進捗

2022年の損益悪化に際し経営の構造改革を図るべく策定した『中期経営計画（23-27）』で掲げた重要施策である「原料転換」を前倒し(2023年12月期)、「高付加価値品販売の追求」と「脱重油」に取り組むとともに、「製品価格の見直し」を進めました。

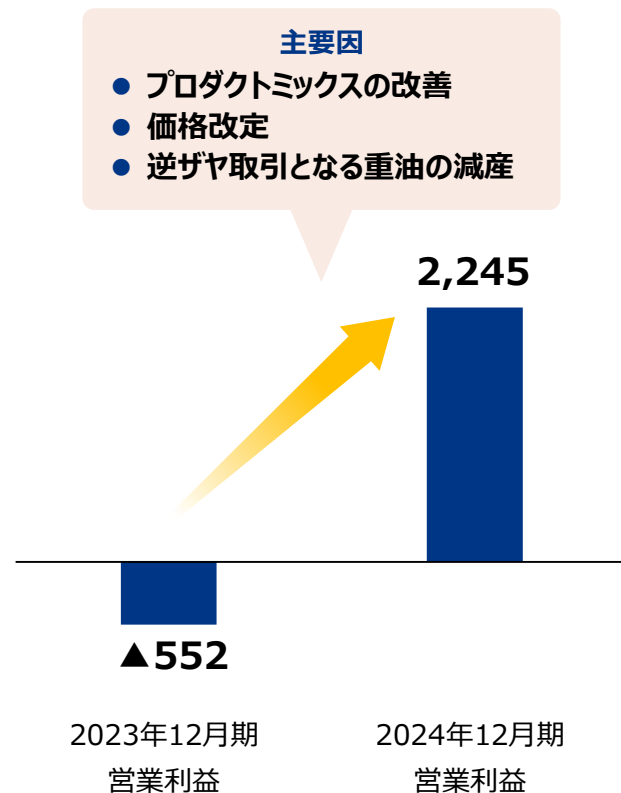
原料転換による脱重油とプロダクトミックスの改善

- 2023年12月期に減圧蒸留装置の稼働を停止し、原料転換を実施したことにより、逆ザヤ取引であった重油販売量が減少しました。
- 原料転換によって一般汎用品が減少したことに加え、高付加価値品販売の追求によってプロダクトミックスが改善しました。
- ワックス収率を意識した原料調達・工程稼働により収率が7%改善したことで、主原材料の値上げによるコストアップを抑制しました。

ワックス製品価格の見直し

- 国内販売において、主原材料、物流費の上昇などによるコスト増加の一部を製品価格に反映しました。
- 輸出版売においても、不採算品の採算是正(価格の見直し、販売先の選定)を行いました。
- 製品価格見直しによって、国内外の一部で販売数量が減少しました。

■ 前年同期比 営業利益差異 (単位: 百万円)



販売の概況

ワックス

高付加価値品販売の追求と製品価格の見直しを行いました。
その結果、数量▲7%・単価+20%となり、増益に貢献しました。

■売上高	2022年12月期			2023年12月期			2024年12月期			前年同期比		
	数量 [ton]	単価 [円/kg]	金額 [百万円]	数量 [ton]	単価 [円/kg]	金額 [百万円]	数量 [ton]	単価 [円/kg]	金額 [百万円]	数量 [ton]	単価 [円/kg]	金額 [百万円]
国内	34,235	362	12,384	26,365	439	11,583	25,732	531	13,652	▲632	+91	+2,069
輸出	46,343	252	11,664	20,891	309	6,445	18,310	357	6,541	▲2,581	+48	+95
ワックス計	80,579	298	24,048	47,257	382	18,029	44,043	458	20,194	▲3,213	+77	+2,165

▲7%

+20%

重油

原料転換とワックス収率を意識した原料投入・工程稼働により生産数量減となり、
逆ザヤ取引となっている重油が減販(数量▲53%)、増益に貢献しました。

■売上高	2022年12月期			2023年12月期			2024年12月期			前年同期比		
	数量 [KL]	単価 [円/KL]	金額 [百万円]	数量 [KL]	単価 [円/KL]	金額 [百万円]	数量 [KL]	単価 [円/KL]	金額 [百万円]	数量 [KL]	単価 [円/KL]	金額 [百万円]
重油	162,650	87,477	14,228	38,352	91,212	3,498	17,920	95,076	1,703	▲20,431	+3,864	▲1,794

▲53%

損益計算書（要約）

『中期経営計画（23-27）』で掲げた施策の実施により、支払金利は増加したものの、当期純利益も前年同期比増益となりました。

(単位：百万円)	2022年 12月期 実績	2023年 12月期 実績	2024年 12月期 実績	前年同期比		主な要因
				増減額	増減率	
売上高	38,457	21,704	22,045	+341	+1.6%	
売上原価	37,065	19,743	17,470	▲2,273	▲11.5%	原材料等の調達価格の低減努力により、販売数量減以上に売上原価減
売上総利益	1,392	1,960	4,575	+2,614	+133.3%	
販売費及び一般管理費	3,435	2,513	2,329	▲183	▲7.3%	販売数量減に伴う販管費減
営業利益	▲2,043	▲552	2,245	+2,798	-%	
営業外収益合計	68	123	79	▲43		
営業外費用合計	288	356	642	+285		劣後ローン※による支払金利増
経常利益	▲2,263	▲785	1,682	+2,468	-%	
特別損益	6	▲558	▲23	+535		原料調達長期契約の解約金支払いがなくなり改善
税引前当期純利益	▲2,256	▲1,344	1,658	+3,003	-%	
法人税等合計	111	▲123	▲117	+5		
親会社株主に帰属する当期純利益	▲2,368	▲1,221	1,776	+2,998	-%	

※ 23'10月 財務体質強化のためにジャパン・インダストリアル・ソリューションズ第参号投資事業有限責任組合から借入

貸借対照表（要約）

業績回復により、当期純利益18億円を計上した結果、財政状態は改善し、流動負債は26億円減少し、純資産は19億円増加(うち利益剰余金18億円増加)しました。

(単位：百万円)	2022年 12月期 実績	2023年 12月期 実績	2024年 12月期 実績	前年同期比		主な要因
				増減額	増減率	
資産合計	33,174	30,001	29,725	▲275	▲0.9%	
流動資産	17,495	14,291	14,669	+377	+2.6%	
現金及び預金	2,039	1,835	2,297	+461	+25.2%	
受取手形・売掛金	3,548	3,178	2,675	▲502	▲15.8%	
棚卸資産合計	10,509	8,880	9,526	+645	+7.3%	
その他流動資産	1,398	397	171	▲226	▲57.0%	
固定資産	15,678	15,709	15,055	▲653	▲4.2%	
有形固定資産	14,895	14,960	14,231	▲728	▲4.9%	
無形固定資産	100	101	84	▲17	▲17.2%	
投資その他の資産	683	646	739	+93	+14.4%	
負債合計	27,779	26,216	24,051	▲2,165	▲8.3%	
流動負債	23,467	18,157	15,594	▲2,563	▲14.1%	
固定負債	4,312	8,058	8,457	+398	+5.0%	
純資産合計	5,394	3,784	5,673	+1,889	+49.9%	利益剰余金 + 1,772
株主資本	▲560	▲1,776	▲3	+1,772	-%	
負債純資産合計	33,174	30,001	29,725	▲275	▲0.9%	

キャッシュフロー計算書（要約）

フリーキャッシュフローは増加し、借入金を23億円減少させました。
金利の高い借入金額を更に減少させることが当社グループの経営の重要課題です。

(単位：百万円)	2022年 12月期 実績	2023年 12月期 実績	2024年 12月期 実績	主な要因
営業キャッシュフロー	▲1,625	1,410	2,943	
税引前当期純利益	▲2,256	▲1,344	1,658	
棚卸資産増減	945	1,677	▲565	
その他	▲314	1,078	1,849	
投資キャッシュフロー	▲339	▲495	▲149	
フリーキャッシュフロー	▲1,965	915	2,793	
財務キャッシュフロー	2,420	▲1,115	▲2,367	借入金▲2,329
キャッシュフロー※	434	▲204	461	
期末残高	2,039	1,835	2,297	

※ キャッシュフローは為替換算差額等を含みます。

2025年12月期 業績予想

2025年12月期業績予想

2025年12月期は、棚卸資産(在庫)の削減に取り組むため、利益は前年比で減少しますが、中期経営計画並みを維持する予定です。財務体質の更なる改善により、劣後ローンの早期返済(前倒し)を目指します。

(単位：百万円)	2024年12月期	2025年12月期		
	実績	予想	前年同期比	中期経営計画
売上高	22,045	21,300	▲3%	28,600
国内ワックス	13,652	14,100	+3%	
輸出ワックス	6,541	5,700	▲13%	
重油	1,703	1,350	▲21%	
その他	147	150	+2%	
営業利益	2,245	1,400	▲38%	1,500
経常利益	1,682	860	▲49%	
税引前当期純利益	1,658	830	▲50%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,776	790	▲56%	1,000
一株当たり配当金	0.0円	0.0円	-円	
外部環境指標 Brent	\$81/bbl	\$85/bbl		
外部環境指標 Gas Oil	\$96/bbl	\$100/bbl		
外部環境指標 為替	151 JPY/USD	145 JPY/USD		

在庫削減によるキャッシュフロー改善

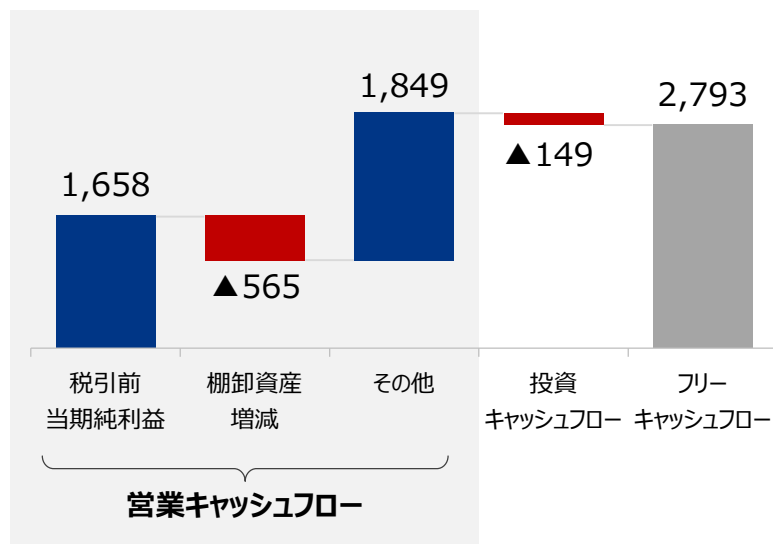
財務体質の更なる改善を目的に、原料・中間製品・製品などの在庫の削減に取り組み、在庫金額は16億円程度減少させる予定です。

これにより、今期の固定費の負担が増加し営業利益は圧縮されますが、営業キャッシュフローは増加します。

(単位：百万円)	2024年12月期 実績	2025年12月期 予想
営業キャッシュフロー	2,943	3,568
税引前当期純利益	1,658	832
棚卸資産増減	▲565	1,609
その他	1,849	1,127
投資キャッシュフロー	▲149	▲603
フリーキャッシュフロー	2,793	2,965

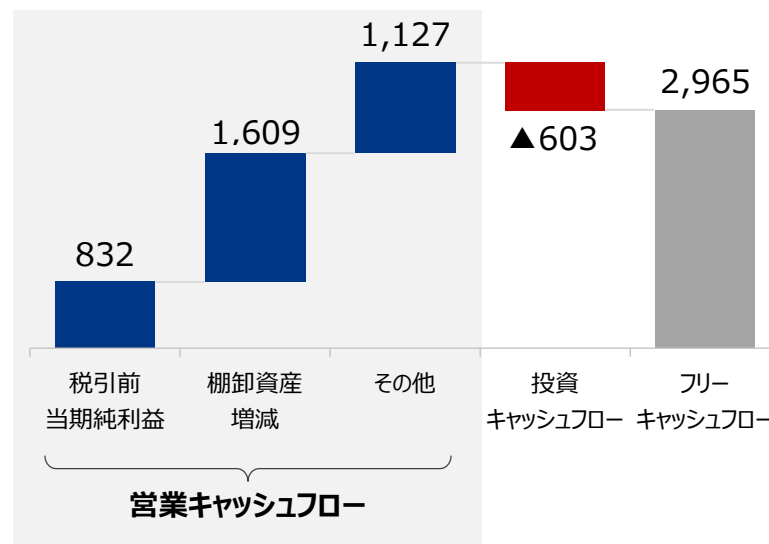
■ 2024年12月期 実績

(単位：百万円)



■ 2025年12月期 予想

(単位：百万円)



販売方針

ワックス

お客様との関係強化により、お客様のニーズ、マーケット動向をより早く、正しく理解し、お客様の求める高品質・高付加価値なワックス製品の安定供給を目指します。

■ 販売予想	2024年12月期 実績			2025年12月期 予想			前年同期比		
	数量 [ton]	単価 [円/kg]	金額 [百万円]	数量 [ton]	単価 [円/kg]	金額 [百万円]	数量 [ton]	単価 [円/kg]	金額 [百万円]
国内	25,732	531	13,652	26,641	529	14,100	+909	▲2	+448
輸出	18,310	357	6,541	17,011	335	5,700	▲1,299	▲22	▲841
ワックス計	44,043	458	20,194	43,652	454	19,800	▲390	▲4	▲394

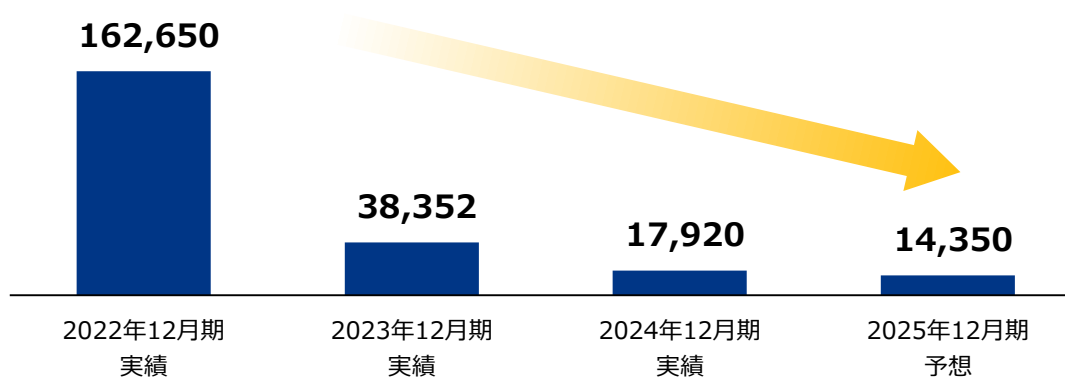
※ 輸出販売額の減少は海外市場の競争激化によるもの

重油

重油の生産量は更に削減する予定です。

■ 重油販売量推移

(単位：KL)



未来を見据えた取り組み

未来へ繋がる足場固め「基盤強化期」と位置付け、以下の取り組みを実施して参ります。

新規高付加価値ワックスへの集中

- 顧客ニーズ・マーケット情報を確実に拾い上げ、新製品、新用途の開発を目指します。
ex) 原価低減処方検討・確立、加圧乳化・ライスワックスなどの新製品ラインナップ拡充、等

工場の強靱化に向けた投資

- 成長市場へ向けての新規製造設備投資、省力化・省人化投資、安全・安定操業投資を検討します。
- 2024年12月期に開放検査周期の4年認定を取得したことから、2025年12月期の定修では4年連続稼働に向けた投資・補修を実施します。これにより2025年12月期の修繕費は増額となりますが、来期以降の単年度の定修引当金の金額は減少します。

その他

- サプライチェーン(原料調達～製品販売)のオペレーションの最適化を目指します。
- 人事制度改定(処遇改善等)などにより、社内外に魅力ある会社作りに努めます。

配当について

引き続き『中期経営計画（23-27）』に掲げた事業モデルの転換を柱とする構造改革を押し進め、できる限り早期に財務基盤の再構築を果たす所存ではございますが、2024年12月期の配当につきましては、会社法上461条に定める分配可能額が無いことから、誠に遺憾ながら無配とさせていただきますことに、株主の皆様のご理解を賜りたく存じます。

2025年12月期の配当につきましても、分配可能額の確保が見通せないことから、無配継続の予想とさせていただきますが、当社といたしましては、早期復配を目指して参りますので、株主の皆様のご支援を賜りたく存じます。

ディスクレームー

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
さまざまな要因により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

- 当資料に関するお問い合わせ

日本精蠟株式会社
経営企画監査部

Mail : ir-otoiawase@seiro.co.jp

『中期経営計画（23-27）』に関しては下記からご参照ください。

[「中期経営計画（23-27）」策定に関するお知らせ](#)